



市長 倉田 久保田 朗
久保田 朗

未来を見据えた

地域づくりを目指して

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市政の推進に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

早いもので、今年は年号が「平成」から「令和」に変わり、5年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、3年を経過した今もなお先を見通すことが難しい状況ではありますが、感染防止対策と社会経済の両立が模索され、地域や市民活動団体の活動も徐々に再開されており、コロナ禍における新しい生活スタイルも浸透してまいりました。

本市の事業としましては、昨年8月に「いわくら夏まつり市民盆おどり」を開催したのを皮切りに、11月に「いわくら市民ふれあいまつり」、12月には「冬の鍋フェスinいわくら」を3年振りに開催することができました。久し振りの開催であったにもかかわらず、大変多くの方々にお越しいただき、参加されている皆様께서そうにご家族やご友人と過ごしている姿を

拝見し、市民の皆様同士のご縁を繋ぎ、心温まる交流を深めることが心と体の健康を保つためには欠かすことができないものであると感じました。これからも、人と人とのふれあい、そして地域のつながりを紡いでいくことができる催しを開催するなど、市民の皆様の笑顔があふれるまちづくりに努めてまいります。

本市は、令和3年12月1日に市制施行50周年を迎え、令和3年1月から昨年11月末までを市制50周年記念事業の実施期間とし、この間に40を超える企画や記念事業を実施いたしました。コロナ禍により多くの制約がある中ではありましたが、市民の皆様からたくさんの方々のアイディアや夢をご提案いただき、記念事業として実現ができたことは、私自身大変嬉しく思っています。改めて、市民の皆様の「いわくら」を愛する気持ちの強さに気づかされ、素晴らしい思い出として記憶に刻まれるとともに、本市の歴史の輝かしい一ページを飾ることができました。ご協力をいただきましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

また、本市では、令和4年度から新たな取り組みとして、担い手不足など顕在化する地域の課題に対して、ずっと暮らし続けられる持続性

の高い魅力的な地域づくりを目指して、「未来寄合」を開催しています。未来寄合とは、小学校区毎に行うワークショップで、地域に関係する方々が自分たちの学校区の「強み」や「弱み」などを共有し、対話を通じて、未来のために何ができるか世代を超えて「自由に語り合う場」のことです。令和4年から2年間かけて、すべての学校区で開催していますので、市民の皆様には、地域の未来を考えていただく「きっかけ」となるよう、また、頂いたご意見を各種施策に反映させて、ともに「未来を見据えた地域づくり」を目指していきたいと考えています。

市民の皆様が年齢や性別、国籍を問わず、便利で快適な生活を送ることができるよう地域づくりの実現には、まだまだ解決すべき課題はありますが、共に力を合わせて立ち向かうことで、必ず未来は開けるものと信じています。次の50年に向け、市民の皆様からこれまで以上に愛される「いわくら」として発展するため、引き続き皆様のお力添えを賜りながら、全力で市政運営に努めてまいります。

結びに、本年が市民の皆様一人ひとりとって健康で幸多き年でありますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

あ 春 新



岩倉市議会議長
伊藤 隆信

“みんなの笑顔で輝くまち”を
目指して

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、新しい年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。令和5年の輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

また、市民の皆様には、日ごろより市議会に対する温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、市制50周年を迎えた岩倉市が次の50年に向けた門出の年でした。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、コロナ禍前の日常生活が少しずつ戻り始めたのではないのでしょうか。岩倉市が主催する50周年記念行事やイベントが開催され、市民の皆様と一っしょに祝い、楽しみ、そして何よりも皆様の笑顔に触れることができたことをたいへんうれしく思いました。しかし、普段の日常生活が完全に戻る日まで、今後も感染の波に注意しつつ「新しい生活様式」にご協力いただきたいと思います。

さて、世界に目を向けますと、2月にロシアのウクライナ侵攻が始まりました。ウクライナ国民の犠牲は増え続け、国際社会からはロシア

に対する厳しい非難の声が上がっています。マスコミを通じて今なおウクライナの現状が伝えられますが、一刻も早い停戦を望むものです。

ウクライナ情勢は、原油や天然ガス、石炭等の資源価格や小麦等の穀物価格の高止まりをもたらしている状況で、これらの大部分を輸入に頼る日本において、交易利得の悪化をもたらし、エネルギーや食料品の価格上昇が家計や企業に大きなマイナスの影響を与えています。

また、先進国を中心としたインフレによる海外の経済・物価情勢を受けての金融・為替市場の動向は、日本経済・物価に大きく影響し、家計の負担が大きく増えています。

岩倉市においてもコロナ対策や家計の負担を支えるべく補正予算を速やかに計上し議会へ提出されますので、この間、議会も定例議会に加え、臨時議会を開催しながら、一刻も早く家計の一助となるよう議論してまいります。

コロナ禍においても議会の議論を市民の皆様知っていただくとうと議会本会議に加えて、常任委員会の審査状況もインターネットによる録画配信を始めましたので、岩倉市議会ホームページからご覧いただけると幸いです。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、日本経済の先行きと今後の動向に注視しなければならぬこともありますが、普段の生活も少しずつ戻ってまいりました。今年は、昨年以上に多くの行事やイベントを通じて市民の皆様と交流し、開催の喜びをともに分かち合いたいと思います。市議会も少しずつではあります、市民の皆様との意見交換会の機会を増やしてまいりました。今年は、コロナ禍前のように多くの皆様とお話できますことを切に願うものです。

今後の社会情勢の見通しを考えましても、市政に対する需要もますます複雑かつ多様化してきております。平成23年に制定しました「岩倉市議会基本条例」の理念に基づき、議会改革の最中ではありますが、市議会の役割・機能が高められるよう、さらなる改革に努め、新たな時代の住民福祉の増進につながるよう「みんなの笑顔で輝くまち」を目指して、より一層努力してまいります。

結びに当たり、市制施行以来50年を築き上げた岩倉市が、次の50年への飛躍の年となりますように、そして新しい年が市民の皆様方にとりまして、元気で幸せな年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。